

クラス番号	612	湯 原 悦 子	湯 原 悦 子
テーマ	社会問題の真の「解決」について考える ―非行、虐待、犯罪などの事例を通して―		
著書・論文	著書:『介護殺人の予防―介護者支援の視点から』 クレス出版 2017 年(単著)、『介護家族をささえる―認知症家族会の取り組みに学ぶ』中央法規出版 2012 年(共編著) 論文:「介護殺人事件の裁判における社会福祉専門職の関与に関する研究」『社会福祉学』56(1),2015 年、「子ども虐待死の検証に関する考察―先行研究の到達点と今後の課題」『子どもと福祉』第1号 2008 年		
研究課題等			

ゼミナール 概 要

キーワード：非行、虐待、犯罪

＜達成目標＞

2 年経った後、ゼミ生一人ひとりが「人を支援すること」への自分なりの視点を持ち、複雑な社会問題を読み解き、社会的に弱い立場に置かれた人々のサポートのために動き出せる力を身に付けていることを目指します。

＜内 容＞

このゼミでは実際に起こった「事件」を取り上げ、虐待、非行、犯罪について学び、理解を深めていきます。

学びの観点は「司法福祉」です。司法福祉は、法的決着がついてもなお残る人々の生きづらさ、時を変え、場所を変え、同じような問題が繰り返される事項について、法的な解決とともに福祉の視点から「真の」意味での解決、臨床的な解決のあり方を模索する学問です。

例えばある事件について裁判が行われ、法的な解決がなされたとしましょう。はたしてそれですべてが終わった、と言えるのでしょうか？必ずしもそうとは言えませんよね。子ども虐待も、介護殺人も、同じような事件が全国各地で繰り返し生じています。つまり、裁判が終わっても、その事件の背景となった社会的な問題の解決がなされていないければ、同様な事件が再発する可能性は高いのです。大事なのは、なぜそのような事件が生じてしまったのか、加害者はなぜそこまで追い詰められたのかを幅広い視点から明らかにしていくことです。それらをふまえて、自分たちは何ができるのかを考えていくことが必要です。

このような問題意識から、ゼミでは主に2つのテーマを掘り下げていきます。一つは非行、虐待、犯罪などを学び、具体的な事件をもとに、現代の家庭や地域、社会が抱える問題を理解することです。もう一つはこれらの問題が生じる背景を読み解き、自分なりの問題意識を持ち、課題克服に向けて何をすべきか構想できる力を身に付けることです。

ディスカッションを通じて事件の理解を深め、問題の本質は何なのか、問題解決に向けどのようなアプローチ方法があり得るか、それらの限界は何か、家庭や地域、社会に求められることは何かなどについて深く考えていきたいと思います。そして1年後には、ゼミ生それぞれが自分自身の課題を見つけることができるよう、個別指導に力を入れていくことを考えています。

このゼミが扱う領域は子ども、障害、高齢、地域など多岐にわたります。「ふくし」、つまり人々の普通の暮らしの幸せについて、領域を絞らず、多角的に学んでいきたいと考えている方にはピッタリのゼミだと思います。

司法福祉って、なんか難しそう…。そう思う人、安心してください。司法福祉は3年からの受講科目です。皆がゼロからのスタートです。実際に生じた事件をもとに学習するので、取り組みやすいと思います。福祉と法律、両方の考え方を学べることも、きっと将来役に立ちますよ！

＜方法と授業計画＞

3年生の前期では、皆で定めたテーマに関する資料や文献を読み、基礎知識の習得を目指します。毎回、報告者が資料や文献の要約を発表し、それに基づき皆で話し合いを行うことによって知識を深めていきます。その際にレジュメの書き方、発表の仕方、話し合いの仕方も学びます。3年後期に学ぶ課題は、学生の興味関心、意向を確認したうえで決定します。希望に応じ、少年院や裁判所、地域の市民団体や支援を行っている機関などの訪問、ソーシャルワーカーへのヒアリングなども行います。

4年次では今までの学習をもとにそれぞれが研究テーマを設定し、4年間の集大成として卒論執筆に取り組みます。また、ゼミの時間に卒論のアドバイスをし、学生自らが気付きを深め、問題点への切り込みをより鋭くしていけるよう、働きかけます。

※ゼミの時間以外に行う活動について

ゼミ生の皆さんには、社会の現実を知っていただくために市民団体への訪問や具体的事件の裁判傍聴、この領域の最新の動向を知ることができる研究会や学会への参加を奨励しています。ただし、これらの活動は週1回のゼミの時間内では行うことができません。時には時間外、交通費のかかる活動への参加も予定しておいてください。

※その他

卒ゼミ生の就職先は多岐に渡っていますが、将来、法務教官、家裁調査官、児童福祉司をめざしたい学生さん、歓迎します！

担当教員からのメッセージ



・エントリーシートを頼りにゼミ生を決定しますので、ご自身の関心や疑問に思っていること、ゼミでやりたいことなどをできるだけ詳しく書いてください。

・ゼミは講義と違い、一人ひとりの個性を尊重し、お互いに学び合える場です。分からないことや興味をもったことを率直に出し合い、柔軟に考えていく姿勢を大事にしたいと思っています。

…皆さんとの出会いを心から楽しみにしています！